

真 第12回 邑楽町武道大会
剣勝負、一本ねらって精神集中

1月29日、町民体育館と武道館で、邑楽町武道大会が開催され、子どもから大人まで約150人が参加。柔道、剣道、空手道の三種目で、選手たちは熱戦を繰り広げていました。



白 第10回 白鳥まつり
い旅人白鳥とともに、ほっと一息

1月29日、ガバ沼周辺で白鳥を愛する会による、第10回白鳥まつりが開催され、町内外から約1,200人が来場しました。温かい豚汁やご飯などの無料配布が行われました。



悠 町指定文化財展「おらが邑の文化財」
久のときをへてよみがえる郷土の歴史

2月17～19日、町立図書館で町指定文化財展「おらが邑の文化財」が行われ、会場には約600人が来場。弥生式土器を始めとした貴重な文化財を、興味深く見つめていました。



地元邑楽の味を伝えたい

2月7日、邑楽町公民館で生活研究グループ連絡協議会による、「食の伝承」交流会が行われました。7つのグループが地元の野菜を使用し、昔なつかしい味の料理を披露。若いお母さんたちとの交流を図りました。料理を食べながら、レシビを継承している姿も見受けられました。

家族に祝われ100歳に



1月25日、田中タケさん(谷中蛭沼・11区)が100歳を迎えました。田中さんは、「健康の秘けつは、好き嫌いなく何でもよく食べること。この帽子は、お正月に家族で100歳の祝い会をしてもらったときに、ひまごからプレゼントされたんです。手作りなんです」と話していました。



父の遺志を継ぎ、寄贈

2月16日、細谷長流(大泉町)さんが、歴史研究家の父、故清吉さん著書「新田邑楽の古代中世の研究」20冊を、町に寄贈してくださいました。細谷さんは、「生まれ育ったまちの歴史を知ることが、地域愛につながります。関係者への寄贈は、生前の父との約束でした」と話していました。

2月17日、町民体育館で中央保育園のリズム参観が行われました。この日は、2～5歳の園児たちが、32種類のリズム遊びを発表。参観に来たお父さん、お母さんが見守る中、園児たちは、一生懸命に日ごろの練習の成果を披露しました。5歳児によるグループポートでは、五人一組になってひとつのポートをつくり、みんなの息を合わせて進みます。園児たちは、隣の舟に追いつけ追い越せと楽しそうに笑顔で競っていました。

みんな、息を合わせて！せつ、の、イチ、ニ、イチ、ニ！

